

(様式3)

平成 28 年度 動物実験等に関する報告

国際水産資源研究所

項 目	報 告 内 容
1 動物実験等の実施状況	
(1) 実施件数	当該年度の実験件数の合計 1 件
(2) 使用動物種	アカウミガメ
(3) 関係研究課題数	当該年度の全実験課題数 1 課題
(4) 実験課題	ウミガメ飼育個体の生体に対する内視鏡による雌雄判別
2 点検・評価結果	
(1) 所内規定の制定	国際水産資源研究所動物実験委員会規則 平成24年 5月22日付け 24水研国第 66号 改正 平成28年 4月 1日付け 28水機国第1-1号 改正 平成29年 3月 1日付け 28水機国第147-1号
(2) 動物実験委員会の 設置状況・構成	委員長 (業務推進部長) 事務局 (業務推進課長) くろまぐろ資源部委員(2名) かつお・まぐろ資源部委員(2名) 外洋資源部委員(2名) ○開催実績 第1回:平成29年4月20日 (主な内容) 1. 国際水産資源研究所魚類実験取扱指針の説明及び審議基準のあり方について 2. H28年度動物実験記録書の審議 3. H29年度動物実験計画書の審議

<p>(3) 動物実験等の実施状況</p>	<p>実験動物の飼育、管理に関して、当該実験は南知多ビーチランドの杉田圭輔獣医師および伊藤幸太郎飼育員の立会いの下実施された。麻酔および実験終了後の抗生物質等の投与に関しては杉田氏が、実験終了後の飼育・管理および経過観察については日本動物園水族館協会倫理要綱 (http://www.jaza.jp/jaza_pdf/library_jaza/2011rinriyokou.pdf) に従って伊藤氏が、それぞれ実施し、当該個体の経過に問題がないことが報告された。</p>
<p>(4) 教育訓練等の実施</p>	<p>本部にて開催された H27 動物実験勉強会のプレゼン資料等を所に持ち帰り、関係者に配布した。また、実験の詳細な手順の指針に関する情報として、カナダ動物管理協会 (CCAC、Canadian Council on Animal Care) が出している各動物グループの実験ガイドラインの抜粋邦訳を作成し、関係者に配布した。また、実験担当者は、実験に先立ち南知多ビーチランドで長年内視鏡による雌雄判別に携わってきた海亀飼育担当者から、実験方法に関して実地指導を受けた。</p>
<p>(5) 実験動物の飼養等</p>	<p>①実験動物の飼育、管理に関して、当該実験は南知多ビーチランドの杉田圭輔獣医師および伊藤幸太郎飼育員の立会いの下実施された。麻酔および実験終了後の抗生物質等の投与に関しては杉田氏が、実験終了後の飼育・管理および経過観察については日本動物園水族館協会倫理要綱に従って伊藤氏が、それぞれ実施し、当該個体の経過に問題がないことが報告された。</p>
<p>(6) 総合評価</p>	<p>適切に実施されたものと認める。</p>